

第1章 郡制市制町村制

高座郡長飛地等ノ質問アリ遽ニ委員ニ於テモ其根拠ヲ究ムルコトヲ 取調フヘキ旨ヲ命セラル	〃	四十八円	全 報酬
知事曰是ヨリ前議ヲ繼續スヘシト即修正説等アリ委員ヲ指定セラル	〃	十八円	全 助役実費
足柄下郡長 津久井郡長 大住洵綾郡長	〃	三十円	全 報酬
次項ニ移リ議ス而シテ第二三ハ皆一項ニ關係アルヲ以テ此儘通過シ	〃	三十四円	委員実費
第二条戸長等ヘ諮詢ノ事ハ知事ヨリ右ハ別段議スルニ及ハス諮詢	〃	三十四円	全 報酬
スル方然ルヘキ旨ヲ命セラル然ルニ又諮詢スルハ不可ナリ <small>(足柄)</small> ト	〃	七十二円	収入役給料
述フルアリ知事曰不可スルモノハ諮詢セサルモ素ヨリ差支ナシ右ハ	〃	六十円	書記給料
一々各郡長ノ見ル所ロニ任スト	〃	四十八円	付属員給料
次ニ独立町村予算調修正ノ項ニ至ル本項亦委員ヲ選ミ明日議スルコ	〃	小計三百六十六円	使丁給料
トトス知事ヨリ左ノ六名ヲ指定セラル	〃	百三十四円	役場費
三浦郡長 南多摩郡長 久良岐郡長	〃	三十円	国県郡政取扱費
高座郡長 金田収税属 岩波収税属	〃	小計百五十円	
一 全月十一日 委員ヨリ独立町村予算調并組合町村ヲ設クルノ理	〃	四百円	学校費
由修正案別紙甲乙之通り提出ス予算調ハ原案之通決ス組合町村設	〃	二百円	里道其 土木費
クル理由案頭書之通議決セリ	〃	内百五十円	夫役
(別紙)	〃	十円	救恤費
独立町村予算調修正案	〃	十円	災害予防費
金 拾八円 町村長実費	〃	三十五円	衛生費

” 十円 会議費
 ” 二十五円 植業費
 小計六百八十円
 計金千九百九十六円
 内百五十円 夫役
 差引
 金千四十六円

組合町村ヲ設クル理由ハ左ノ通トス

- 一 山川ヲ隔テ交通不便甚シキモノ
- 一 争論上ノ關係排除スヘカラサルモノ
- 一 数年ヲ出テスシテ基本財産増殖シ充分独立自治ノ目的確乎タルモノ
- 一 民業ノ差異甚シキモノ

(右四項の注記) (朱書) 『決議シタルモ知事ノ方針ヲ示サレタルニヨリ無効
 二風ス』

一 同月十三日 知事郡区会へ出席別紙第一号之旨意ヲ演達セララル
 (注) 別紙欠。

(足柄上郡役所「町村制回議」(明治二十二年) 神奈川県庁蔵)

三六 栃窪村資力等調査をめぐる足柄上郡長の

大住洵綾郡長宛申状

第七二二号 明治廿一年仕出 同年完了
 七月十八日 同月完了

郡長代理(印) 庶務掛 書記 大島敬義(印)

栃窪村資力調大住洵綾郡役所へ回送方

町村制施行上町村分合之儀ニ付貴衙磯部書記ト本衙内藤書記ト共ニ
 栃窪村及渋沢村平沢村等実視ノ末御打合候通り本郡栃窪村戸数資力
 等左表之通取調及御回付候条上申書御認メ候上ハ御差廻シ有之度此
 段申進候也

追テ貴郡ニ係ル他ノ調書至急御差廻シ相成度

明治廿一年七月十八日 足柄上郡長 白根大道

大住洵綾郡長 佐藤喜左衛門殿

栃窪村	村名	戸数	反別	新二収入金	十七七八十 九年度平均 町村費并協 議費	増旧収入 減
三			地価	額		
			七四(町)五二(八)	四五、六三		
			六、〇〇八(町)三三(五)		三、三二	七、八五二

(足柄上郡役所「町村制回議」(明治二十二年) 神奈川県庁蔵)

三三 足柄上郡の新村名選定をめぐる往復文書

(一一)

第八七六号

明治廿一年
七月十九日 仕出

郡長代理 (印) 書記 大島敬義 (印)

新村名ノ儀ニ付部長へ照会方

本月郡区長会ノ節知事御演達ノ趣ニヨリ予テ御示シ相成候書式ニ素
キ土地ノ情況酌量合併町村ノ見込相立上申可致儀了承右ハ各村合併
新ニ其名称ヲ選定シ其旧各村名称ハ唯大字トシテ微々存在スルニ止
マル耳然ルニ去月内務大臣訓令第三五二号第六条ノ末ニ歴史上著名
ノ名称ハ可成保存ノ注意ヲ為スヘシトアリ是等則愛國ノ一端ナルヘ
シ仮令ハ我足柄上郡ニ於テ 上曾我村外数村合併曾我村
関本村外数村合併関本村ト 称シ度候得共全
廢新称ノ方可然哉至急御意見同度此段及御照会候也

明治廿一年七月廿日

第一部長 田沼 健殿

必御親展

足柄上郡長 白根大道

第十七号

合併町村へ名称付与方之義ニ付去二十日付ヲ以テ云々御照会之趣致
領承候右曾我邸外数ケ村ヲ合併シテ曾我邸ト称シ関本邸外数ケ邸ヲ
合併シテ関本邸ト称スルモ其合併中ノ町邸ニ於テ苦情等無之御見込
ニ候得ハ之ヲ存置スル方可然ト被存候得共元来名称方之義ハ実地ノ
狀況ニヨリ取捨參酌ヲ要スル義ニ付其辺篤ト御調査之上御取極メ相
成度此段及回答候也

明治二十一年七月廿四日

第一部長 田沼 健 (印)

(足柄上郡役所「町村制回議」(明治二十一年) 神奈川県庁蔵)

三六 足柄上郡荻野村の合併沿革に関する件

上申書

(本書)
『庶第七十式号』

郡下荻野村ハ以前荻野一色荻野岩ノ兩村ヲ合セ現村名ヲ付シタル右
沿革詳細取調方務第九六四号ヲ以テ御照会ニ拠リ取調候処別紙指令
写之通ニ付進達候也

明治廿一年八月廿日

雨坪村外拾ケ村

戸長役場 (印)

(二)

足柄上郡役所御中

(別紙一)

合村願

御管下第一大区九小区

相模国足柄上郡

荻野岩村

等ノ數ヲ始メ其他冗費多分ニ付今般兩村小前一同遂示談合村致新規
村名荻野村ト改称仕度右合村仕候上者冗費ヲ省クノミナラズ御用向
其他之便利大小之小前一同之洪福ヲ得ルコト眼前之儀ニ付何卒格別
之御憐察ヲ以合併御聞届被成下度依之塵絵凶相添此段一同連印ヲ以
奉願候

明治八年二月十五日

荻野岩村

遠藤 喜藏 印

外五拾老名印

- 一 反別七拾老町三畝八歩
- 内大繩反別八町五反三畝歩
- 一 戸數五拾七戸
- 一 人員貳百九拾貳人

荻野一色村

- 一 反別貳拾老町九反三畝拾貳歩
- 内大繩反別九段八畝廿歩
- 一 戸數貳拾七戸
- 一 人員百五拾老人

同 磯崎新右衛門印

同 磯崎太郎兵衛印

同 磯崎 庄兵衛印

同 外貳拾四名印

右兩村戸長副小前一同奉願候私共村方之儀者田畑山林及ヒ民家共數
ヶ所入交リ用水堰路堤防道路普請等恰モ如碁錯雜仕居空ク手數ヲ費
スコト不少殊ニ目下地券改正取調等モ兩村一致ニ取調不仕候而者落
成致シ兼候廉モ有之且ツ兩村共小村ニシテ村吏之數多ク事務取扱所

右村
小前惣代 磯崎 新兵衛印
副戸長 柏木 徳治郎印

足柄県令 柏木忠俊殿

前書之通相違無之依而奥印仕候也

戸 長 武井 重三郎印

第一大区九小区

副戸長 矢野 七兵衛印

一 反別貳拾壹町九段三畝拾貳步

内大縄反別九反八畝廿步

一 戸数貳拾七戸

一 人員百五拾三人

合反別九拾三町六反六畝廿步

内大縄反別拾町貳反壹畝廿步

合戸数八拾四戸

合人員四百四拾七人

右之通取調奉書上候処相違無御座候以上

荻野岩村

明治八年三月

合村願ニ付書上

御管下第一大区九小区

相模国足柄上郡

荻野岩村

小前惣代 飯田仲右衛門

副戸長 遠藤久左衛門

同 磯崎新右衛門

同 磯崎太郎兵衛

荻野一色村

小前惣代 磯崎 新兵衛

副戸長 柏木 徳治郎

戸長 武井 重三郎

一 反別七拾壹町七反三畝八步

内大縄反別九町貳反三畝步

一 戸数五拾七戸

一 人員貳百九拾四人

荻野一色村

足柄県令 柏木忠俊殿

前書取調奉書上候通相違無御座候依而奥印仕候也

明治八年三月

右区

副区長

武尾弥十郎

(足柄上郡役所「町村制回議」(明治二年) 神奈川県庁蔵)

二六 足柄上郡中川村他数か村の資力等調査

ならびに新村名選定に關する往復文書

第一〇二三号

明治廿一年仕出 明治同年
八月三十一日仕出 九月一日完了

書記 大島敬義(印)

別紙部長照会ニ関スル件

(ママ)

町村区域其外取調書及通達候処中河村寄村ニケ村及其他ノ件ニ付第三十四号ヲ以テ御照会ニヨリ取調候処右両村ノ外荻村峠下村上中村入河村等何レモ資力標準ニ及ハスト雖モ是等ハ皆山間僻邑他ニ分合ノ見込相立不申地勢上ノ止ムヲ得サルモノニ有之就中新収入金額ノ若少ナルハ入河村ナリ依テ此村ニ付キ支出ニ要スル経費ノ予算額詳細取調書別紙差進候条是ニテ御了解相成度尤其他ノ五ヶ村ハ收入ノ多キニ從ヒ増加致度候將又村名之儀ニ付福田村ヲ桜岡峠下村ヲ坂口荻村ヲ菖蒲ト相改度云々御申越ニヨリ再考致候処福田村峠下村ハ御意見至極適當ト存候間御改正相成度候得共荻村ハ旧村各独立ノ勢ア

リ中ニ就キ最モ富有ニシテ勢力アルハ柳川村之ニ次クハ三廻部村ナリ菖蒲村ハ此次ナリ改ニ合村ノ新名菖蒲ヲ称フルトキハ民心ニ大関係ヲ引起ス哉モ難計蓋此旧四ヶ村タル哉煙草ノ耕作ニ熱心年々歳々改良ヲ加へ上等品ヲ産出スルニ付莫ノ文字ヲ付称スルトキハ却テ民心ニ適合候ハント依テ選定候儀ニ付荻村ノ称号ヲ御採用相成候様致度御答傍此段申進候也

追テ別紙上申書中御付箋ノ廉取調候処違算ニ付取直シ及再進候也
明治廿一年九月一日 足柄上郡長 白根大道

第一部長 田沼 健殿 親展

(別紙一)

入河村自治ニ要スル支出ノ経費予算額

- 金拾五円 町村長実費
- 金三拾六円 同 報酬
- 金拾貳円 町村助役実費
- 金拾四円 同 報酬
- 金拾八円 収入役給料
- 金貳拾四円 書記給料
- 金貳拾四円 使丁給料
- 小計百五拾三円

金四拾円

役場費

金拾円

国県郡政取扱費

小計五拾円

金拾円

道路費

是ハ木竹費ノミニシテ雇人夫ハ夫役ヲ以テスルニ付本行ノ通り

金三円

救恤費

金八円

災害予防費

金六円

衛生費

金八円

会議費

金八円

勸業費

小計金三拾八円

合計金貳百四拾壹円

右ノ外小学校費ハ生徒授業料貸出金利子及雑収入ニテ不足ヲ生スル

トキハ有志寄付金ヲ募リ以テ維持スル見込ニ候

(別紙二)

第三十四号

町村区域其外取調書御進達ニ付及調査候処新称中河村寄村ノ二ヶ村

ハ其資力標準ニ及ハサルコト遠シ右ハ地勢上止ムヲ得サルヨリ出タルモノニ可有之候得共自治ニ堪ヘ得ヘキ歟否ヲ見認兼候間尚御取調

独立シ得ヘシト見認ラレタル事由及將來此村落ニ於テ支出ヲ要スル

經費ノ予算額等詳細御報道有之度且村名御撰定ノ内福田村莫村峠下

村ハ御再考相成度福田村ハ桜岡 岡本郷桜井郷 旧村中ノ

峠下村ハ坂口等ノ称ヲ付シ候テハ如何或ハ民心ニモ関スヘキ事ニ付

尚再応ノ御調査望マシキ事ニ有之候右及御照会候也

明治二十一年八月廿五日

第一部長 田沼 健(印)

足柄上郡長 白根大道殿

追テ莫村峠下村上中村モ資力標準ニ対シ幾分ノ不足相見候此分

モ將來自治ニ要スル支出予算御取調御回送可有之且別紙書類違

算相見候間一応及御返却候御訂正之上至急御差出相成度候也

(足柄上郡役所「町村制回議」(明治二年) 神奈川県庁蔵)

180 町村分合をめぐる県知事冲守固の訓令

および諮問事項

訓令甲地第十九号

町村制施行準備ノ為メ此際町村ノ分合ヲ要スルモノ下調書差出候ニ

付テハ尚各戸長及重立ノ者へ諮問シ其願末ヲ具申スヘシ
右及訓令候也

明治廿一年九月五日

神奈川県知事 沖 守固 (印)

足柄上郡長 白根大道殿

四 足柄上郡金子神繩両村の町村制施行に

関する上申書 (一一)

一 新町村ノ区画並ニ村名役場位置ノ適否ヲ戸長ニ諮問スルコト

一 区長等ニ対シ戸長ノ意見適當ト認ムルトキハ之ヲ修正スルヲ得
ルコト

一 戸長ノ諮問ヲ終リタルトキハ郡内重立タルモノヲ適宜招集シ其
意見ヲ諮問スルコト

但招集ノ場所日限ハ前以県庁へ通報スルコト

一 人民ノ意見町村制ノ本旨ニ適セスト認ムルモノハ十分其得失ヲ
説明スルコト

一 村名並ニ役場位置等ハ可成人民ノ撰定ニ任スルコト

一 前各項ノ手續キ終リタルトキハ訓令第 ^(欠字) 号ニ依リ意見書ヲ添へ
九月三十日限り知事へ具状スル事

一 郡界ノ更正ニ係ルモノハ人民ノ情願ニ出ルモノ、外一切変更セ
サルコト

(足柄上郡役所「町村制回議」(明治二十二年) 神奈川県庁蔵)

上 申 書

(二)

過日町村制ノ義ニ付拙者等へ御諮問相成候ニハ該制ハ一村ノ負担経
費年額一千元以上ヲ支弁スルノ資力ナキモノハ独立スルヲ得ズ故ニ
十七年度以來ノ実費支払高平均ヲ見ルニ一モ一千元ニ満たス因テ金
子村モ現今ノ連合村ヲ合併シ法律ノ希望スル有力ノ村ヲ造成セント
ス茲ニ於テ各自一己ノ意見ヲ聞キタシト之ニ因テ拙者等ノ意見ハ固
ヨリ金子村ハ独立ヲ希望スト雖モ如斯制規ニテアレハ到底独立ノ資
力ナシト思考シ金手村神山村ト本村ニ合併スルトキハ一千元ニ近
キ経費ヲ支弁スベキ資力ヲ有スル村ニ至ラン殊ニ連合五ヶ村ヲ合併
スルトキハ地形人情相異ナルニヨリ山岳党トカ堤防党トカ平地党ト
カニ別レ自然共同一致ナラス随テ公益ヲ害スルニ至ラン既ニ連合村
会賦課法ノ目ニ都度ノ議論囂々タルヲ以テ将来ヲトスベキモノナレ
バ右三ヶ村合併ニテ差置レ度申上候

然ルニ帰宿後町村制ヲ繙読スルニ一村年額一千元以上ノ経費ヲ負担

スルニ堪ヘズトモ独立スルヲ得ルヤニ解得セリ將シテ然ラハ前説ヲ改テ上申セザルベカラザルナリ

抑モ金子村ハ戸數貳百廿有戸人口千五百ニ及ハントシ地価金殆ント拾貳万四ヲ有セリ之レニ因テ見レハ資力法律上ノ義務ヲ負担スルニ堪ヘズトハ云フベカラサルモノナリサレバ他村ト合併シ財源ヲ潤ムルモ施政ニ不便ヲ来タスヨリハ寧ロ独立シテ其本分ヲ尽スニ如カサランヤト存候仍テ此段謹テ上申仕候也

足柄上郡金子村

明治廿一年九月廿三日

石井四郎兵衛(印)

小野 金太郎(印)

足柄上郡長代理

足柄上郡書記 内藤營三郎殿

(二)

町村制ニ付上申書

足柄上郡神繩村人民惣代山崎徳次郎外八人奉申上候今般町村制御実施ニ付從來之村方僅少ニ付御序ニ於テ地勢風俗等御酌量被為在山市場村神繩村世附村中川村玄倉村及川西村乙部合セテ六ヶ村合併入河村ト改称候様御諭達之趣難有拜承一同感服仕リ以後協心戮力信義ヲ

守リ一村ノ隆盛ヲ計リ地方自治ノ制ヲ完カラシメ以テ国恩ノ万分ノ一モ奉報ト想像罷在候ヘ共右六ヶ村ノ内御諭達ニ悖リ不服申立分難ニ相成候村方モ有之候上ハ不得止一村独立ト遺憾ナガラ一同決心仕候間右兩件ノ内一件御採用被成下置候様拳而奉懇願候也

足柄上郡神繩村

一村総代

山崎 徳次郎(印)

明治廿一年十月

全 山崎 久次郎(印)

全 山崎 利三郎(印)

全 山崎 七五郎(印)

全 山崎 桑三郎(印)

全 山崎 伊三郎(印)

全 大胡田安五郎(印)

全 石渡 豊次郎(印)

全 大胡田喜三郎(印)

神奈川県足柄上郡長代理

内藤營三郎殿

(足柄上郡役所「町村制回議」(明治二年) 神奈川県庁蔵)

二三 足柄上郡山田村他二か村の合併問題に関する

意見書(一三)

足柄上郡長代理

足柄上郡書記 内藤蒼三郎殿

野村 磯太郎(印)
古谷 儀助(印)

御答書

(二)

御答書

(二)

足柄上郡神山村

一 今般町村制御施行ニ相成候ニ付テ者最寄村ニ合併致候方可然旨聊御申聞有之候得共本村之義者四圍山岳中之一村ニシテ戸数ハ八百貳拾余戸有之加之山村ト雖モ地価三万貳千何百余田余有之尤一村独立者自然ニ備リ居リ候村方ニ御座候得者他村へ合併等致候テハ不便者勿論本村之不利益ハ目前ニ候依テ已後独立之覚悟ニ御座候仍テ村民惣代連署ヲ以テ此段御答差上申候也

去月廿八日町村制御施行区域之儀ニ付御招喚相成候依テ拙者共惣代トシテ出頭意見具申候処各村意見ヲ異ニシ一決セサルヨリ尚帰村之上人民ニ協議ヲ遂ケ確答可致旨御命令相成候間篤ト審議シ其結果左ニ開陳候

右

足柄上郡山田村

村民惣代

渡辺 歌次郎(印)

香川 舎次朗(印)

内田 桑次良(印)

瀬戸 佐兵衛(印)

瀬戸次右衛門(印)

当神山村之如キハ独立シ法律上ノ義務ヲ尽クス能ハサルヲ以テ近傍有力ノ村ト合併セサルヲ得ス然レトモ人情ノ協ハサル經濟ノ異ナル松田両村ト連合シ後來ノ損害紛議ヲ生スルヲ憂ヒ且又地勢ニ於テモ合併ノ不便ヲ唱ヘ居リ候依テ当村ハ金子村金手村ト合併シ一新村ヲ設立スルニ於テハ水利ノ便其他經濟ノ点ニ至リテモ敢テ差違アルニアラス且又資力ノ如キモ充分法律上ノ義務ヲ尽クスヲ得ル義ニ有之人民一同ニ於テモ右合併ハ異存無之ノミナラス希望スル所ニ御座候

間松田惣領松田庶子ヲ分離シ右三ヶ村合併之義ニ相成候様一決仕候
右御答申上候也

明治廿一年十月一日

右村
橋本 為吉 (印)

北村 源之丞 (印)

足柄上郡長代理

足柄上郡書記 内藤營三郎殿

御答書

(三)

足柄上郡金手村

去月廿八日町村制御施行区域之義ニ付御招喚相成候依テ拙者共惣代
トシテ出頭意見具申候処各村意見ヲ異ニシ一決セザルヨリ尚婦村之
上人民ニ協議ヲ遂ケ確答可致旨御命令相成候間篤ト審議シ其結果左
ニ開陳候

当金手村之如キハ独立シ法律上ノ義務ヲ尽クス能ハザルヲ以テ近傍
有力ノ村ト合併セザルヲ得ス然レトモ人情ノ協ハザル經濟ノ異ナル
松田両村ト連合シ後來ノ損害紛議ヲ生スルヲ憂ヒ且又地勢ニ於テモ
合併ノ不便ヲ唱ヘ居リ候依テ当村ハ金子村神山村ト合併シ一新村ヲ

設立スルニ於テハ水利ノ便其他經濟ノ点ニ至リテモ敢テ差違アルニ
アラズ且又資力ノ如キモ充分法律上ノ義務ヲ尽クスヲ得ル義ニ有之
人民一同ニ於テモ右合併ハ異存無之ノミナラス希望スル所ニ御座候
間松田惣領松田庶子ヲ分離シ右三ヶ村合併之義ニ相成候様一決仕候
右御答申上候也

明治廿一年十月一日

右
藤沢 才三郎 (印)

諸星 五右衛門 (印)

大津 音次郎 (印)

諸星 惣五郎 (印)

足柄上郡長代理

足柄上郡書記 内藤營三郎殿

(足柄上郡役所「町村制回議」(明治二年) 神奈川県庁蔵)

四三 愛甲郡棚沢村他四か村の合併問題をめぐる

副申書

町村制実施上ニ付意見副申書

右者這回地方制度実施上町村廢置分合方ニ付曩キニ夫々意見上陳仕

置候所已ニ実地御施行ノ場合ニ差迫リ候趣ニ付テハ敢テ利害ノ係ル
処ヲ陳述シ左ニ上申仕候

抑我々現組合五ヶ村ノ地タル自ラ地勢人情ヲ異ニシ且ツ旧来ノ縁故
アルニ非ズ加之明治十七年役場区画御発布以來ノ実践ニ因ルモ到底
一団ノ自治体ヲ組織シ以テ永遠ノ運動ヲ共ニスル能ハザルモノト確
信セリ然リ而テ之方新区域ヲ画セントセバ勢ヒ他ノ部落ニ及ハザル
ヲ得ズ因テ新村編成方及其理由由左ニ上陳仕候

新村編成区画

一 下川入村棚沢村ト〔中津村八菅山村〕トヲ合ス

一 妻田村及川村三田村ト〔林村〕トヲ併ス

其理由 現在ノ三田村外四ヶ村連合ヲ分離ス可キ理由由左ノ如シ

一 夫現組合五ヶ村ノ地タル其区域甚ダ広袤ニ過ギ南妻田村ハ厚木
町境ニ起リ北棚沢村者八菅山村境ニ亘リ始ト中津村ノ北端ニ相接
ス其長キコト大概弍里半程ニ及ブ特ニ及川村ハ妻田三田両村ノ西
方ニ突出シ下川入村ハ棚沢村ト中津村ヲ狭ミ東ノ方ニ突出ス是ヲ
以テ其交通ノ不便ナル及川村ノ如キハ隣村下萩野村ヲ通過スルニ
非ザレバ中央三田村ト往復スル能ハズ下川入村モ亦迂回シテ才戸
越エノ一路アルノミ斯ク地形相隔絶シ從テ各部民人散在離居セル
ヲ以テ自然風俗人情ヲ異ニシ到底一致団結スル能ハザルモノト確

信ス

一 前項ノ如キ地形ナレバ小学校ニ至テモ其中央ニ校舍ヲ設立スル
モ生徒ヲシテ如何ゾ通学セシムルヲ得ンヤ既ニ通学スルヲ得ズト
セバ勢ヒ數個ノ学校ヲ設置セザルヲ得ズ而テ斯クスルトキハ自然
資金ニ不足ヲ来シ到底完全ナル教育ヲ施ク能ハザルハ既往ノ実跡
ニ徴シテ争フ可カラザルノ現象ナリトス

一 前陳ノ理由ナルヲ以テ明治十七年戸長役場区画御発布アルヤ我
々村民タル者私カニ謂ク如何ナル理由アツテ斯ク風俗人情ノ異ナ
ル地理不便極リナキ村々ヲ以テ敢テ連合セラレタルカ當時ハ只組
合村ナルヲ以テ一時ノ御政略止上ムヲ得ザルコトノ在アリテ斯ク
セラレンモノニシテ決シテ永遠之レヲ維持スルニ非ザルコトト想
像シ荏苒歲月ヲ經過スルニ從ヒ漸々其不便ヲ実践シ茲ニ自治区ヲ
制定スルニ方リ到底分離セザルヲ得ザルモノニシテ決シテ俱ニ運
動ス可ラザルコトト確信セリ

下川入村棚沢村両村ヲ中津組ニ編入セントスル理由由左ノ如シ

下川入村棚沢村中津村及八菅山村ノ地タル元來一村ニシテ中津川
ノ兩岸ニ散在シ自カラ一群ヲ為シ地勢人情ヲ同フシ天然自然ノ自
治区ヲ組成セルモノナリ而テ土地ノ如キモ三ヶ村犬牙相接シ共有
地其他連帶ス可キ事件數多ニシテ強テ之ヲ分離スルトキハ其不便

焉ヨリ大ナルハナシ

- 一 下川入村棚沢村中津村三ヶ村共有地稜山凡反別七十丁歩畑凡反別五町歩其他ノ土地数多ヲ有セリ故ニ一村ト為シ之ガ保護ヲ完フルトキハ將來ニ於テ基本財産ヲ増殖スル最モ容易ノ事ナリトス
- 一 三ヶ村接続ノ田地ニ灌溉スル用水路アリテ是亦連帯シテ処理ス可キモノナレバ利害上避ク可カラザルノ關係ヲ有スルモノニシテ若シ一村ト為シ之レヲ管理セザルトキハ大ニ不便ナルモノナリトス
- 一 前項ノ外下川入村ノ灌溉ニ供スル用水堰アリテ地勢上少シク水路ニ変更ヲ来ストキハ直チニ中津村ニ影響シ若シ村落ヲ異ニスルトキハ從テ利害ヲ異ニシ或ハ爭論ヲ惹起スル恐アリ
- 一 亦堤防ノ如キモ三ヶ村ニ亘レル水害区域アリテ合シテ一村ト為シ以テ之レガ管理ヲ為ササル可カラザルノ必要アリ
- 一 八菅山村ノ如キハ旧來前三ヶ村ヨリ支分セル村落ニシテ直接ノ關係ヲ保ツモノナレバ勿論共同スヘキモノナリ且ツ現ニ三ヶ村ノ氏神ノ鎮座セルノ地ニシテ殊更合併ノ必要ヲ感ズルモノナリ
- 一 三ヶ村ニ点在セル飛地夥多アリテ若シ之ヲ別村トナストキハ該地組替ノ為メ大イナル不便ヲ生スルノ恐アリ前已ニ述ブルカ如ク下川入棚沢中津三ヶ村ハ密接ノ關係ヲ有シ先年有名ノ訴訟件ヲ生

シ為メニ貴重ノ歲月ト財産トヲ徒費スル鮮少ニアラズ畢竟此ノ訴訟ヲ生セシハ生來ノ一村ヲ分離セシノ結果ニシテ之レガ后来ヲ予

防スルハ亦村落ヲ合併シ利害ノ及ブ処ヲ俱ニスルニ若カザルナリ

- 一 前數項ノ理由ヲ確メン為メ古來ニ成立シタル^{〔注〕}圖面^{〔ラビ〕}ノ騰写^{〔ラビ〕}ナシ以テ冊尾ニ添付ス幸ニ御參觀アラントヲ希望ス

但書面中新戸村トアルハ現今ノ下川入村ニシテ熊坂村ハ中古別シテ熊坂半繩八菅ノ三村トナリ合シテ目今中津村ト為ス是ニ棚沢村ヲ加ヘ古來総稱シテ川入即チ五ヶ村ト云ヒシナリ

妻田村及川村三田村ヘ林村ヲ加フルノ理由左ノ如シ

- 一 三田妻田兩村ノ如キハ耕地連綿相接シ地勢上自然相分離ス可カラザルモノナリ而テ林及川兩村ノ地勢タル妻田村ト小鮎川ノ対岸相接シ是亦俱ニ團結ス可キモノナリトス而テ此ノ四村ヲ合併セハ地形最モ宜キヲ得テ一個天然ノ好自治体ヲ組成セルモノナリト確信セリ

- 一 林村用水ハ及川村地内ヨリ堰入レ以テ水田ニ灌溉ス然シテ亦妻田村用水モ及川村ニ關係シ自然三ヶ村交互關係ヲ有スル村落ニシテ是合併セサルヲ得サルモノナリトス

- 一 妻田村及川村林村三ヶ村ハ共ニ小鮎川ノ沿岸ニ在リテ堤防ノ如キ勢ヒ共ニ為ザルヲ得ズ加之小鮎川ノ水路タル蜿蜒々屈曲殊ニ甚シ

ク為メニ年々水害ヲ生シ良田ヲ損スル鮮少ニアラズ故ニ村落ヲ合併シ共同一致水路ノ更生ヲ施サバ自然水害ヲ除去シ之レニ替フルニ幾多ノ耕地ヲ達成スルニ至ラバ豈一挙兩得ノ策ナラズヤ

一 小学校ノ如キ従来妻田及川兩村ノ設立ニ係ル校舍アリテ現今三田村ノ一部通学セリ而シテ其位置恰モ今回新設村落ノ中央ニ當リ部内児童ヲシテ一所ニ通学セシムルニ最モ便宜ニシテ而シテ一村ノ全力ヲ以テ此一校ヲ維持セバ經濟上自カラ余裕ヲ生シ從テ完全ナル教育ヲ施スヲ得將來ニ於テ而學事ノ進歩スル我々ノ信ジテ疑ハザル処ナリ

一 及川村ノ一部ニハ曾テ林村ノ所屬ナル土地民家アリシガ地租改正ノ際示談ヲ以テ及川村ニ組替ヘタリ此ノ如キ事情アルカ故目今ニ至ルモ兩村密接ノ關係ヲ生ジ到底同一ノ村落ト為サルヲ得ザルモノナリ

一 妻田及川兩村ノ精神タルヤ下川入棚沢兩村ヲ中津村ヘ編入スル前已ニ陳ブル如キノ理由アリ加之地形上合併セザルヲ得ズ仮リニ下川入棚沢兩村ニ於テ是迄ノ連合区域合併ヲ是ナリトスルモ妻田及川兩村ニ於テハ地形上ノ不便ヲ以テ断ジテ之ヲ分離シ以テ妻田三田及川林四村ヲ合併セントス亦中津村ニ於テモ下川入棚沢兩村ノ合併ヲ望マントスルモ妻田及川兩村ニ於テハ下川入棚沢ノ合併

ハ飽ク迄之ヲ拒絕セントス斯クノ如キトキハ何レヘ合併シテ可ルヤ是レ最モ密接ノ關係アル村々ヲ以テ合併スベキハ当然ノ理由ナリト信認セリ

右之通意見副申仕候条事實御洞察願意御採用被成下度此段上申候也
明治二十一年十月

神奈川縣
愛甲郡棚沢村八拾壹番地平民

同郡同村千七拾三番地平民

原 勇次郎

柏木徳太郎

同郡同村千八拾壹番地平民

同郡同村第八拾八番地平民

原 十平

橘川富三郎

同郡同村千五拾四番地平民

同郡同村九拾壹番地平民

林 熊吉

山口五三郎

同郡同村千五拾八番地平民

同郡同村六拾三番地平民

林惣右衛門

橘川 重平

同郡同村五百七拾六番地平民

同郡同村(欠字)

関原辰五郎

原 太郎

同郡同村五百六拾六番地平民

同郡同村九百六拾九番地平民

関原五郎吉

原 紋次郎

同郡同村五百六拾八番地平民

同郡同村千七番地平民

関原弥平治

原 太伊七

同郡同村五百五拾八番地平民

同郡同村千六拾九番地平民

関原 孫平

原 定次郎

同郡同村五百五拾七番地平民

同村三百四拾八番地平民	松野 治郎	同村六百四拾九番地平民	鈴木琴次郎	同村千四百拾貳番地平民	佐野貞次郎	同村九百九拾五番地平民	鈴木重郎平
同村三百四拾九番地平民	小宮 清吉	同村六百五拾番地平民	鈴木清次郎	同村千四百八番地平民	佐野 七郎	同村九百九拾七番地平民	鈴木 平造
同村五百八拾七番地平民	亀川 莊吉	同村千五百三拾貳番地平民	松野藤次郎	同村千四百七番地平民	笹生弥之助	同村千貳百番地平民	佐野伊之助
同村六百五番地平民	鈴木福太郎	同村千五百廿五番地平民	松野莊太郎	同村千四百廿貳番地平民	笹生 藤八	同村九百廿番地平民	小宮 兵治
同村六百拾八番地平民	鈴木長太郎	同村千五百廿六番地平民	松野勇次郎	同村千四百廿番地平民	鈴木豐次郎	同村九百拾番地平民	佐野安太郎
同村六百拾九番地平民	鈴木 まん	同村千五百廿四番地平民	松野浜太郎	同村千四百廿番地平民	鈴木 伊八	同村九百七番地平民	佐野平十郎
同村六百廿貳番地平民	鈴木万五郎	同村千五百廿三番地平民	松野 八郎	同村千四百六拾八番地平民	笹生弥太郎	同村八百九拾七番地平民	小宮 惣平
同村六百四拾番地平民	鈴木高次郎	同村千五百拾六番地平民	松野鉄五郎	同村九百六拾八番地平民	亀川 倉吉	同村八百九拾三番地平民	大川 友七
同村六百四拾四番地平民	宮田 善作	同村千五百拾七番地平民	松野房次郎	同村九百七拾五番地平民	笹生秋次郎	同村八百九拾貳番地平民	清水菊次郎
同村六百四拾五番地平民	宮田秀五郎	同村千五百拾九番地平民	松野 文作	同村九百九拾三番地平民	大川 市作	同村九百四拾五番地平民	清水愛次郎
同村六百四拾八番地平民	宮田八五郎	同村千四百六拾五番地平民	松野金太郎	同村九百九拾四番地平民	大川芳五郎	同村千五百五番地平民	鈴木喜代五郎

同村千百貳番地平民	松野 米吉	同村四百七拾貳番地平民	笹生与次右衛門	同村四百九拾番地平民	符生 駒吉
同村千百壹番地平民	亀川 唯助	同村四百七拾七番地平民	小宮八重吉	同村四百九拾八番地平民	愛甲郡妻田村貳拾三番地平民
同村千拾番地平民	笹生徳太郎	同村四百七拾七番地平民	笹生森三郎	同村四百九拾九番地平民	川井 瀨
市川五右衛門	市川五右衛門	同村四百七拾七番地平民	笹生 為吉	同村五百三番地平民	川嶋勝次郎
同村千百四拾四番地平民	和田卯之助	同村四百七拾七番地平民	同村四百三拾貳番地平民	同村五百三拾五番地平民	石川 藤吉
同村五百廿三番地平民	川崎鯛次郎	同村四百七拾七番地平民	同村四百三拾五番地平民	同村五百三拾五番地平民	及川村九百四拾四番地平民
同村五百廿九番地平民	亀川伊三郎	同村四百七拾七番地平民	同村四百四拾五番地平民	同村五百四番地平民	沼田初五郎
同村五百三拾叁番地平民	笹生角太郎	同村四百七拾七番地平民	同村四百四拾八番地平民	同村五百四番地平民	棚沢村六拾三番地平民
同村四百四拾六番地平民	小宮半五郎	同村四百七拾七番地平民	同村四百五拾四番地平民	同村五百四番地平民	橘川文次郎
同村五百三十八番地平民	笹生 織蔵	同村四百七拾七番地平民	同村四百五拾四番地平民	同村五百五番地平民	同村三百八番地平民
同村五百四拾叁番地平民	小宮 新平	同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百五番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百五拾五番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百八拾六番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百八拾七番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百八拾八番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百八拾九番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾一番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾二番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾三番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾四番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾五番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾六番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾七番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾八番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村四百九拾九番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百一拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百二拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百三拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百四拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百五拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百六拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百七拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百八拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村五百九拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百一拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百二拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百三拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百四拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百五拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百六拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百七拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百八拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村六百九拾番地平民	
		同村四百七拾七番地平民	同村四百七拾七番地平民	同村七百番地平民	

同村五百拾六番地平民	田中半次郎	同村千貳百三拾番地平民	栗原 峰吉	同村千八拾六番地平民	加藤与三郎	同郡同村五百參番地平民	石田岩次郎
同村	細野 李平	同村千貳百六番地平民	長坂愛次郎	同村八拾四番地平民	高崎弥五八	同郡同村五百廿六番地平民	湯沢 谷造
同村百七拾四番地平民	田所喜代造	同村千貳百四拾七番地平民	長坂喜次郎	同村四百八拾壹番地平民	渋谷 亀吉	同郡同村六百四拾七番地平民	又村 末吉
同村千八拾七番地平民	加藤忠次郎	同村千貳百五番地平民	長坂 丸吉	同村千六百六拾六番地平民	小島秀五郎	同郡同村四百八拾番地平民	山口滝次郎
同村五百拾七番地平民	高崎 吉平	同村千五百廿七番地平民	栗原熊次郎	同村五百九拾四番地平民	浅葉 周造	同郡同村六百五拾番地平民	湯沢 初造
同村四百九拾九番地平民	三角重太郎	同村千貳百廿三番地平民	栗原 半六	愛甲郡妻田村五百廿三番地平民	桐生金次郎	同村六百四拾八番地平民	清田 たか
同村五百拾番地平民	落合 兵吉	同村千貳百廿七番地平民	栗原 兼吉	同郡同村五百廿四番地平民	清田 時造	同村四百七拾九番地平民	清田 宗八
同村四百七拾九番地平民	細野松太郎	同村千貳百拾貳番地平民	神戶 善吉	同郡同村五百廿四番地平民	吉村栄次郎	同村四百七拾五番地平民	吉村辰五郎
同村千貳百五拾貳番地平民	安藤 国造	同村千七拾貳番地平民	渋谷 鈴吉	同郡同村五百六番地平民	水島新八郎	同村六百五拾壹番地平民	加藤徳太郎
同村千貳百五拾五番地平民	安藤仲五郎	同村九百九拾番地平民	土屋六三郎	同郡同村五百五番地平民	湯沢 豊吉	同村四百七拾壹番地平民	山口友次郎
同村千貳百五拾三番地平民		同村千貳百拾六番地平民		同郡同村五百廿五番地平民		同村六百五拾四番地平民	

山口栄次郎	加藤 辰造	島山常次郎	足立弥太郎
同村四百六拾七番地平民	同村四百三拾六番地平民	同村三百四番地平民	同村貳百九拾貳番地平民
水島 善吉	小田川松五郎	亀井 栄吉	小島 吉造
同村四百六拾貳番地平民	同村四百三拾四番地平民	同村三百六番地平民	同村貳百九十番地平民
篠崎金太郎	小田川重吉	篠崎倉太郎	柴田元次郎
同村四百六拾壹番地平民	同村四百三拾三番地平民	同村三百八番地平民	同村千四百九番地平民
篠崎 万吉	小池房次郎	足立 茂平	後藤喜十郎
同村四百五拾六番地平民	同村四百三拾貳番地平民	同村三百壹番地平民	同村千四百拾番地平民
島村 甚八	小池 広吉	福山 米造	中川 時造
同村四百六拾五番地平民	同村四百三拾壹番地平民	同村三百零番同号地平民	同村貳百七拾番地平民
鷹嘴 喜八	又村 円造	加藤 紋吉	小島徳太郎
同村四百九番地平民	同村四百廿八番地平民	同村三百番地平民	同村貳百七拾三番地平民
小池 儀八	飯島 長吉	長野 庸	小島 平造
同村四百五拾貳番地平民	同村四百廿七番地平民	同村貳百九拾九番地平民	同村貳百七拾四番地平民
丑村辰五郎	安達 竹造	篠崎 嘉吉	又村松五郎
同村四百五拾壹番地平民	同村四百廿六番地平民	同村貳百九拾五番地平民	同村貳百七拾六番地平民
酒川福太郎	長野 亀吉	加藤弥平次	中川浅次郎
同村四百四拾五番地平民	同村四百廿五番地平民	同村貳百九拾四番地平民	同村貳百七拾八番地平民
八田 今造	長野竹次郎	加藤惣次郎	中川勘太郎
同村四百四拾四番地平民	同村三百九番地平民	同村貳百九拾貳番地平民	同村貳百五拾三番地平民
八田綱五郎	亀井彦次郎	足立 米吉	永野格次郎
同村四百四拾三番地平民	同村三百七番地平民	同村貳百八拾六番地平民	同村貳百五拾七番地平民

第1章 郡制市制町村制

同村貳百五拾八番地平民	永野常次郎	同村貳千壹番地平民	藤井 武平	同村百九拾六番地平民	森田 佐平	同村三拾九番地平民	川井 勝造
同村貳百六拾貳番地平民	福山 平八	同村貳千七番地平民	藤井 定七	同村百九拾五番地平民	福山 孫七	同村三拾貳番地平民	中野千代吉
同村貳百六拾五番地平民	小池高次郎	同村千九百九拾九番地平民	柴田 源造	同村百九拾四番地平民	福山富次郎	同村九拾貳番地平民	川井徳三郎
同村貳千九百九拾貳番地平民	小池 悦造	同村貳千壹番地平民	柴田 佐吉	同村貳千七拾六番地平民	福山鎌三郎	同村九拾貳番地平民	川井 彦八
同村千九百九拾四番地平民	三浦 脩	同村貳千九番地平民	藤井和重郎	同村百番地平民	永野彦太郎	同村四拾四番地平民	中野 喜平
同村千九百九拾五番地平民	紫村角次郎	同村貳百四拾六番地平民	篠崎清五郎	同村七拾九番地平民	川井則太郎	同村九拾四番地平民	中野 留吉
同村千九百九拾七番地平民	島村近三郎	同村貳千七拾番地平民	柴田 和吉	同村百壹番地平民	川井新太郎	同村八拾七番地平民	中野庄太郎
同村千九百九拾六番地平民	島村熊次郎	同村貳百四拾五番地平民	小島 伝吉	同村百三番地平民	川井 斧吉	同村百拾六番地平民	新倉乙次郎
同村三百九番地平民	沼田栄次郎	同村貳百四拾三番地平民	永野勘一郎	同村百五番地平民	中野太郎吉	同村八拾四番地平民	金子 弥市
同村貳百六拾四番地平民	亀井数太郎	同村二百四拾貳番地平民	石井由五郎	同村九拾八番地平民	川井 弥八	同村八拾五番地平民	又村 新七
同村貳千貳番地平民	北村 伝吉	同村貳百廿六番地平民	石井 常八	同村九拾番地平民	中野幸太郎	同村三拾七番地平民	川井咲次郎